



2026年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年10月9日

上場会社名 メディアファイブ株式会社
コード番号 3824 URL <https://www.media5.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 活
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 川上 隆幸
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
TEL 092-762-0555

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第1四半期の業績(2025年6月1日～2025年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第1四半期	438		16		15		8	
2025年5月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第1四半期	9.26	
2025年5月期第1四半期		

(注) 当社は、2025年5月期第3四半期から非連結での業績を開示しております。
そのため、2026年5月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2026年5月期第1四半期	674		377		56.0
2025年5月期	700		373		53.3

(参考) 自己資本 2026年5月期第1四半期 377百万円 2025年5月期 373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期		0.00		5.00	5.00
2026年5月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の業績予想(2025年6月1日～2026年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	846	3.4	9		11		0		0.00
通期	1,730	0.6	10	72.6	8	88.6	5	91.6	5.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年5月期1Q	986,000 株	2025年5月期	986,000 株
期末自己株式数	2026年5月期1Q	46,000 株	2025年5月期	46,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年5月期1Q	940,000 株	2025年5月期1Q	940,000 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、前第3四半期会計期間より非連結決算に移行し、連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の数値及びこれに係る前年同四半期増減率等の比較分析は行っておりません。

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要により、国内景気は引き続き緩やかな回復傾向が継続しております。一方で、世界的な物価上昇、金融資本市場の変動、アメリカの政策動向等、経済活動に急激な影響を与える要因が払拭されておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス業界においては、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する投資需要は継続しており、社会全体としてIT活用の流れが一層増加し、慢性的にIT人材が不足している状況にあります。

このような環境の中、当社では、2024年3月に東京支店を銀座から秋葉原へ移転し、ITエンジニア育成研修の拡大を目指し、「アキバ・テックドリーム・アカデミー」を開校、未経験者や新規学卒者を積極的に採用し、育成に注力しております。また、技術力の向上、ワークライフバランスの向上を図ることで、優秀な人材の囲い込みを図っております。加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園薬院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるSES事業は、ITエンジニアの需要が高まっていることを背景として、新規取引先の獲得及び既存取引先における契約単価交渉を行ってまいりました。

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高438,155千円、売上総利益168,500千円、営業利益16,288千円、経常利益15,486千円、四半期純利益8,705千円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①SES事業

主要事業であるSES事業は、高度IT人材の育成、技術力向上に注力するとともに、取引先への契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は405,558千円、セグメント利益は109,318千円となりました。

②ソリューション事業

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、中規模・小規模のシステム開発案件の受注、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスの提供を安定的に行っております。また、今後の業容拡大を目指し営業活動に注力してまいりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は32,596千円、セグメント利益は1,763千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は674,116千円(前事業年度末は700,239千円)、うち流動資産539,875千円(同569,122千円)、固定資産134,241千円(同131,117千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金368,654千円(同388,954千円)、売掛金149,768千円(同147,137千円)、前払費用8,485千円(同10,388千円)等であり、固定資産については、有形固定資産26,540千円(同15,146千円)、無形固定資産15,045千円(同16,199千円)、保険積立金21,305千円(同21,305千円)、敷金及び保証金35,598千円(同36,048千円)、繰延税金資産27,058千円(同33,543千円)等であり、

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は296,707千円(同326,836千円)、うち流動負債213,787千円(同239,236千円)、固定負債82,920千円(同87,600千円)となりました。

その主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金18,720千円(同18,720千円)、未払金18,398千円(同13,805千円)、未払費用48,946千円(同120,853千円)、未払消費税等36,473千円(同26,852千円)、賞与引当金37,286千円(前事業年度末の計上なし)、預り金45,217千円(同32,196千円)等であり、固定負債については、長期借入金82,920千円(同87,600千円)であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は377,408千円(同373,403千円)となりました。

その主な内訳は、配当金4,700千円の支出による減少及び四半期純利益8,705千円の計上による増加であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	388,954	368,654
売掛金	147,137	149,768
契約資産	8,508	2,817
仕掛品	2,891	13
貯蔵品	261	261
未収入金	6,970	6,947
前払費用	10,388	8,485
その他	4,635	3,551
貸倒引当金	△625	△623
流動資産合計	569,122	539,875
固定資産		
有形固定資産	15,146	26,540
無形固定資産	16,199	15,045
投資その他の資産		
長期前払費用	1,996	1,996
保険積立金	21,305	21,305
敷金及び保証金	36,048	35,598
従業員に対する長期貸付金	862	680
繰延税金資産	33,543	27,058
その他	6,014	6,014
投資その他の資産合計	99,771	92,654
固定資産合計	131,117	134,241
資産合計	700,239	674,116
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,673	540
1年内返済予定の長期借入金	18,720	18,720
未払金	13,805	18,398
未払費用	120,853	48,946
未払法人税等	6,590	2,444
未払消費税等	26,852	36,473
賞与引当金	—	37,286
契約負債	14,479	3,753
預り金	32,196	45,217
その他	1,064	2,006
流動負債合計	239,236	213,787
固定負債		
長期借入金	87,600	82,920
固定負債合計	87,600	82,920
負債合計	326,836	296,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	198,925	198,925
資本剰余金	164,625	164,625
利益剰余金	18,676	22,681
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	373,403	377,408
純資産合計	373,403	377,408
負債純資産合計	700,239	674,116

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
売上高	438,155
売上原価	269,654
売上総利益	168,500
販売費及び一般管理費	152,212
営業利益	16,288
営業外収益	
受取利息	79
保育事業収益	10,381
雑収入	381
営業外収益合計	10,842
営業外費用	
支払利息	293
保育事業費用	11,350
営業外費用合計	11,644
経常利益	15,486
税引前四半期純利益	15,486
法人税、住民税及び事業税	296
法人税等調整額	6,485
法人税等合計	6,781
四半期純利益	8,705

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、前第3四半期会計期間より非連結決算に移行し、連結財務諸表を作成していないため、比較情報を記載していません。

当第1四半期累計期間（自 2025年6月1日 至 2025年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	SES事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	405,558	32,596	438,155
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	405,558	32,596	438,155
セグメント利益	109,318	1,763	111,081

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	111,081
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△94,793
四半期損益計算書の営業利益	16,288

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、当第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第1四半期累計期間
(自 2025年6月1日
至 2025年8月31日)

減価償却費 1,893千円